株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日

定時株主総会 3月下旬開催

期末配当基準日 12月31日(中間配当金の支払いを行うときは6月30日)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告 (http://www.cac.co.jp/)

ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、

日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱 UFJ 信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のトピックスをはじめ、 株主・投資家様向けに様々な情報をご案内しております。 ぜひご利用ください。

http://www.cac.co.jp/





株式会社シーエーシー

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 24-1 TEL.03-6667-8000 (代表)

文字の読みやすさ(視認性)を高めたユニ バーサルデザインフォントを使用し、より わかりやすいレイアウトにしています。





IT サービスの 新領域拡大を目指します。

代表取締役社長 酒匂 明彦

2013年度は増収ながら、ITサービスの収益低下により営業減益でした。 次年度は新規連結子会社の寄与も含め、増収増益を目指します。

2013年度は、医薬品開発支援を中核とするBPO/BTOサービスは増収増益でしたが、開発・運用体制高度化のための投資増やITサービス分野の一部不採算案件の影響により、営業減益となりました。当期純利益は期初計画水準を確保できましたので、期末配当金は、計画どおり1株につき16円とさせていただきました。

2014年度は、3ページ以降でご報告のとおり、インドIT 企業のAccel Frontline Limitedを子会社化し、また、

連結業績概況 (1~12月) (単位:百万円)

	当年度(2013年度)	対前年度増減率(%)	
受注高	39,977	0.1	
売上高	40,963	3.6	
営業利益	2,528	△6.2	
経常利益	2,664	△7.7	
当期純利益	1,514	26.8	

4月1日付で持株会社体制に移行します。これらは、進展するグローバル化に適応しながら、既存事業の強化と新規事業領域の拡大を図るための取組みです。特にAccel社は、当社が手掛けておらず、かつ成長性のある分野でも事業展開していることから、新領域の拡大が加速できると考えています。これらにより、2014年度は増収増益を見込みます。今後も改革の手を緩めず、成長軌道を確かなものにしたいと考えています。

2014年度の取組み

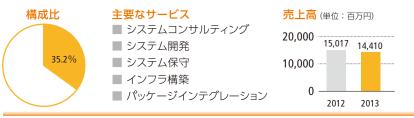
Accel Frontline Limited の子会社化

持株会社体制への移行

サービス別・業種別の概況

◆ サービス別売上高

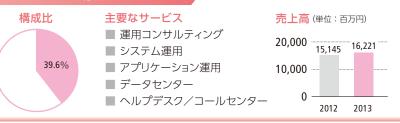
システム構築サービス





金融分野は増加したものの、他の分野、特に 信託分野が減少したことにより、売上高は、 前年度比 4.0%減少の144億10百万円となり ました。また、営業利益は5億87百万円とな りました。

システム運用管理サービス



>>> ポイント

ハードウェア売上増加の寄与もあって、サービス分野および医薬分野が伸長したため、売上高は、前年度比7.1%増加の162億21百万円となりました。また、営業利益は5億37百万円となりました。

BPO/BTOサービス



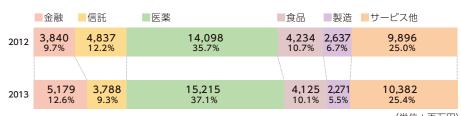


>>> ポイント

医薬品開発支援サービスが引き続き堅調に推移したため、売上高は、前年度比10.1%増加の103億31百万円となりました。また、営業利益は14億3百万円となりました。

学業種別売上高

顧客の経営統合に関わる案件により 金融向けが増加。医薬品開発支援 サービスが牽引し医薬向けも伸長。



(単位:百万円)







インド IT 企業の Accel Frontline Limited を子会社化

当社は、2013年12月9日、インドに本拠を置くAccel Frontline Limitedの過半数の株式を取得することで同社と合意。その後、大株主からの株式譲受け、第三者割当の引受け、および公開買付により同社を子会社化しました。同社は、当社グループが手掛けていない領域でも事業展開しており、国内外で最も活動的なIT分野を含む領域で収益を伸ばしています。今回の買収では、海外サポート力が拡充できることに加えて、当社グループにとっての新規領域に進出できた意義も大きく、これにより、中期の基本戦略のひとつである、新事業領域の強化を加速できると考えています。

✓ [IT 賞] を 2 年連続受賞─ ワークスタイル変革の取組み ─

当社が現在取り組んでいる企業力強化の中核的施策のひとつにワークスタイル変革があります。これは、新たなワークスタイルを支えるIT基盤の刷新と連動して進めており、目指すのは、「いつでもどこでも誰とでも」仕事ができる環境の実現と、個々人の経験に依存し過ぎない知識集約の仕組み作りです。この取組みがITサービス業界全体の魅力向上に繋がると評価され、公益社団法人企業情報化協会から平成25年度「IT賞」のIT奨励賞を受賞しました。2年連続の受賞です。こうした取組みを通じて得たノウハウは、顧客向けサービスにも活かしています。



フリキタスソリューションの 提供を開始

当社は、2013年10月から、企業のワークスタイル変革の実現をITで支援する「フリキタスソリューション」の提供を開始しました。近年、グローバル化への対応、災害時の事業継続、育児や介護に携わる人材への支援といった観点から、場所や時間の制約を受けにくい働き方への関心が高まっており、こうしたニーズに応えるべく開発したサービスです。自社での実践・実証から得たワークスタイル変革ノウハウと長年培ってきたエンタープライズシステムの構築・運用管理ノウハウを活用しています。今回の提供開始を皮切りに、当社は今後もワークスタイル変革のためのサービスを拡充してまいります。

**フリキタス:Free(自由な)+Ubiquitous(いつでもどこでも)の造語であり、当社の登録商標です。



社会貢献への取組み

当社信条の第2項「人間社会を牽引するにふさわしい品格を持つ」に基づき、2013年も社会貢献活動に取り組みました。11月には埼玉県開智学園の生徒さんの職場体験学習に家庭菜園特化型SNS「Cropnet」チームが協力。実例に近いデータを使った監視業務やマーケティング企画を体験いただきました。環境施策としては、白神山地の玄関口である青森県中津軽郡西目屋村の森で公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が進める植樹活動を支援。また2013年から、障害者クロスカントリースキー日本チームの支援を開始。障害を持つ方々にウインタースポーツに触れる機会や本格的スポーツに打ち込める場を提供するお手伝いをしています。

詳細情報

http://www.cac.co.jp/topics/topics_131114.html http://www.cac.co.jp/environment/shokuju.html http://www.cac.co.jp/topics/topics_131226.html

★ 持株会社体制への移行 - 企業価値の持続的拡大を目指して -



当社は、本年4月1日付で会社分割を行い、 持株会社体制に移行いたします。同日から 商号を「株式会社CAC Holdings」に変更 し、持株会社として引き続き東証一部への 上場を維持します。従来、当社が営んでき た事業は、グループ会社の経営管理を行う 部分を除き、新たに設立する「株式会社シー エーシー | がすべて引き継ぎます。新設会 社は、当社の100%子会社であるため連結 業績に直接的な影響はなく、当社株式の資 産価値にも変動はありません。また、配当は 連結業績をもとに決定していることから、こ の点についても当社株主の皆様への影響 はございません。

当社が持株会社体制へ移行する主な目的 は、次の3つです。

- ① グループ戦略機能の強化と 経営資源の最適配分
- ② それぞれの業態に応じた各事業会社の成長
- ③ グループでのグローバル対応力の強化

本年4月1日からは、CAC Holdingsを核と して各事業会社が集い、それぞれに最適な サービスと価値をお客様にお届けする 体制となります(左図参照)。今後、CAC Holdingsは、グループ戦略機能を強化し、 株主の皆様の期待にお応えすべく、企業価 値の持続的拡大に注力してまいります。

株式の状況 (2013年12月31日現在)

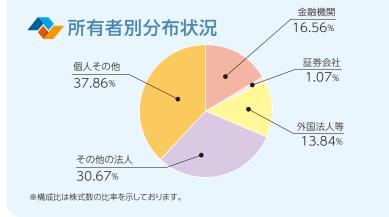
株式の状況・会社情報

発行可能株式総数 86.284.000株 発行済株式の総数 21.541.400 株 総株主の議決権の数 199,048 個 5,498名 株主数

大株主

株主名	議決権数(個)	議決権比率(%)
株式会社小学館	35,122	17.64
アステラス製薬株式会社	10,777	5.41
キリンホールディングス株式会社	10,400	5.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	10,243	5.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9,451	4.74
CAC社員持株会	7,270	3.65
株式会社三井住友銀行	4,840	2.43
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドンエス エル オムニバス アカウント	4,629	2.32
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	4,046	2.03
東洋ゴム工業株式会社	2,890	1.45

(注)当社は、2013年12月31日現在、自己株式1,634,043株を保有しておりますが、上記大株主からは 除外しております。



会社の概要 (2013年12月31日現在)

株式会社シーエーシー 英文社名 CAC Corporation

東京都中央区日本橋箱崎町24番1号

TEL.03-6667-8000(代表)

1966年8月8日 設立 資本金 37億204万円

従業員数 1.040 名(グループ従業員数2.239名)

営業品目 コンサルティング・サービス

システム・インテグレーション

システム開発サービス システム保守サービス

BPO サービス

システム運用管理サービス データセンター・サービス ヘルプデスク・サービス デスクトップ・サービス 情報処理サービス

ソフトウェア/ハードウェアの販売



役員 (2014年3月27日現在)

代表取締役会長 俊夫 島田 代表取締役社長 明彦 酒匂 取締役兼執行役員 川真田 取締役兼執行役員 安達 取締役兼執行役員 長倉 浩和 社外取締役 花田 社外取締役 松島 社外取締役 廣瀬 诵孝 社外取締役 黒田 由貴子 松村 常勤監查役 晶信 常勤監査役 大須賀 正之 社外監査役 藤谷 護人 敏男 **社外監査役** 大澤 ※持株会社体制への移行に伴い、2014年4月1日付で

役員の異動を行う予定にしております。